平成 26 年 2 月 7 日

各　　位

会社名　第一精工株式会社
代表者名　代表取締役社長　小西　英樹
（コード番号 6640　東証第一部）
問合せ先
役職・氏名　経営企画室長　天本　忠勝
電　　話　0942－75－5241

新製品の開発に関するお知らせ

当社は、この度株式会社ワコーと共同で、世界初*の静電容量方式を採用した「トルクセンサ」を開発しましたので、下記のとおり概要をお知らせいたします。

*2014年2月当社調べ

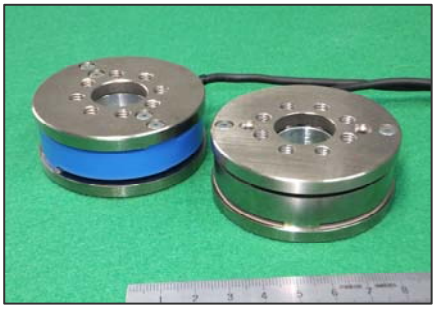
記

１．新製品の名称
静電容量型 トルクセンサ

２．新製品開発の経緯
製造分野から医療・介護などのサービス分野まで自動化ニーズの高まりと、規制緩和の後押しも受けて成長が期待されるロボット産業においては、労働安全衛生規則（80W規制）の解釈の変更で、人とロボットが共存できる環境づくりに向けた安全規格化の取組みが本格化していくと予想されています。
当社は、これまでロボット産業分野で技術を活かしたビジネス参入機会を探求してまいりました。そうした中、この度株式会社ワコーとの共同により、ロボットや各種自動組立装置向けの“静電容量型 トルクセンサ”を開発するに至りました。
当社がこれまで培ったコネクタ、精密機構部品、自動車部品並びに半導体製造装置事業に次ぐ新たな分野への参入を目指した取り組みの一環であり、今後も魅力ある製品開発に取り組んでまいります。

３．新製品の概要
（1）内容
各種ロボットや自動組立装置の回転動作時に発生するトルクを検出し制御するためのセンサです。
静電容量方式を採用することで、従来の歪ゲージ式トルクセンサと比べ構造がシンプルなため部品数の削減につながり、大幅なコスト削減とニーズに合わせた自由なデザインが可能です。

（2）特長
・静電容量方式の採用によるシンプルな構造で軽量・低コストを実現
・簡易ストッパー構造による過負荷対策
・マイコン内蔵のため外部モジュール不要
・自由なデザイン対応



４．今後の見通し

現時点において、本件に伴う当期業績予想への影響は見込んでおりません。

ただし、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上